

2950

第四號		決行指定	決裁指定	保存期限
大臣房	局長	主務局長	大臣	件名
昭和三十九年三月十九日	昭和三十九年三月十九日	昭和三十九年三月十九日	大臣	受領
昭和三十九年三月十九日	昭和三十九年三月十九日	昭和三十九年三月十九日	大臣	事務次官回付
昭和三十九年三月十九日	昭和三十九年三月十九日	昭和三十九年三月十九日	大臣	決裁後
昭和三十九年三月十九日	昭和三十九年三月十九日	昭和三十九年三月十九日	大臣	送部
昭和三十九年三月十九日	昭和三十九年三月十九日	昭和三十九年三月十九日	大臣	決行決裁後
昭和三十九年三月十九日	昭和三十九年三月十九日	昭和三十九年三月十九日	大臣	回覽課名
昭和三十九年三月十九日	昭和三十九年三月十九日	昭和三十九年三月十九日	大臣	起元庫(課)名
昭和三十九年三月十九日	昭和三十九年三月十九日	昭和三十九年三月十九日	大臣	書記官
昭和三十九年三月十九日	昭和三十九年三月十九日	昭和三十九年三月十九日	大臣	審案
昭和三十九年三月十九日	昭和三十九年三月十九日	昭和三十九年三月十九日	大臣	筆記者

秘密特許

陸軍

陸軍 副官ヨリ陸軍技術本部總務部長へ通牒

客年二月六日附陸軍技術本部秘甲第一二號ニ係ル丸記
出願秘密特許ニ関シ別紙ノ通特許證送付ス

丸記

車輛用懸架装置

陸密第一八六號 昭和十一年三月十一日

0569

特許第一四五六七號

特許證

陸軍大臣

發明者 東京府原乙未生 味山治三郎

發明ノ名稱 車輛用懸架装置

出願公告 秘密特許ニ付公告イシ

前記發明ハ特許スヘキモノト確定シタリ仍テ特許原簿ニ登録シ本證ヲ下付ス

昭和二年二月廿四日

特許局長官 中松眞卿

印

0250

第 一 〇 〇 〇 号

特許査定
本

昭 和 十 年 二 月 十 七 日

昭和十年特許願第一六四二號

發明ノ名稱 車輛用懸架装置

出願人 陸軍大臣

代理人

出願公告昭和 年 月 日 甲

右出願ニ付査定スルコト左ノ如シ

本願ニ付テハ拒絕ノ理由ヲ發見セサルヲ以テ本願ノ發明ハ之ヲ特許スヘキモノトス

昭和十年二月十七日 特許局審査官 山田健吉 (印)

右謄本ハ原本ト相違ナキコトヲ認證ス

昭和十年二月十九日 特許局屬

藤川一磨

(シヘス意注ニ項事載記ノ面裏)

保存期	決裁指定	決行指定
受領番号	審査官指定件	大臣
密受第一六七號	密ニ	政務次官
特許局長官	起元(課)名	高次官
書記官	審査官	局長
審案	書記官	局長
筆記者	書記官	局長
	書記官	局長
	書記官	局長
	書記官	局長
	書記官	局長
	書記官	局長

政務次官回付 決裁後連帶

決行決裁後 回送課名

主務課長
受領番号 昭和一〇年二月二十五日
提出 昭和一〇年三月五日
大臣受領 昭和一〇年三月五日
了結 昭和一〇年三月五日

局長 主務課長

局長 主務課長

局長 主務課長

審案

筆記者

次官ヨリ特許局長官へ回答

二月二十五日附十庶第九九號ヲ以テ通牒ニ係ル
丸記秘密特許審査官指定ノ件ハ異存無之
ニ付御了知相成度此段及回答候也

左記

陸密第一三七號 昭和十年三月六日

昭和十年特許願第一六四二號 車輛用懸架装置

8490



送第 一六六 號 其 一

十庶第九九號

昭和十年二月二十五日

特許局長官 中 松 眞 卿

陸軍次官 橋本虎之助 殿

二月十五日附陸密第九九號ヲ以テ御差出ニ係ル秘密特許願ノ審査官トシテ當局技師山田健吉ヲ指定致候條右御了知相成度此段及通知候也

追テ願書番號通知書同封致置候ニ付御查收相成度申添候



特

局

日本標準規格 B5 (182×257mm)

167.

0524

正第 一六七號 其二

願書番號通知

昭和十年特許願書第

1642

號



昭和十年 二月 十五日 差出ニ係ル特許願書 二附

シタル番號右ノ通ニ付之ヲ通知ス

追テ以後本件ニ關シ書類、雛形、見本等ヲ差出ストキハ必
ス之ニ前記願書番號(昭和 年特許願書第 號)及發明ノ名
稱ヲ記載シ印形ハ願書ニ押捺シタルモノヲ使用スヘシ

昭和十年 月 日

特許局

出願人 陸軍大臣 殿
代理人

日本標準規格 B6 (128×182mm)



添付

167

陸技本秘甲第一二號

秘密特許出願ノ件上申

昭和十年二月六日

陸軍技術本部長 岸 本 綾 夫

陸軍大臣 林 銑 十 郎 殿

左記發明ニ對シ別紙ノ通讓渡證ニ通竝秘密特許願、明細書、圖面各四通添付進達
セシニ付秘密特許出願セラレ度

左 記

一、發明ノ名稱 車輛用懸架裝置



167

9450

本文申越、通秘密特許願及
明細書ニ大臣捺印、上讓渡證
ト共ニ特許局ニ送達セラレ度

昭和拾年貳月拾四日

総務課

官房 御中

昭和十年二月十五日



説明ターゲット

次の原稿

不鮮明

0577~0579

3年 12月 13日

主務者又は

撮影立会者

加部東保夫



秘 密 特 許 願

一、發明ノ名稱 車輛用懸架裝置

一、發 明 者

東京市杉並區阿佐ヶ谷三丁目四百八十八番地

陸軍砲兵中佐 原 乙 未 生

東京市板橋區練馬南町二丁目三千六百十一番地

陸軍技 手 咲 山 治 三 郎

右出願ニ關シ別紙明細書ニ記載スル發明ニ付秘密特許相受度候也

昭和十年 月 日

東京市麴町區永田町一丁目一番地

陸軍大臣 林 銑 十 郎

特許局長官 中 松 義 卿 殿

陸軍第九九號

昭和十年二月十五
日五十二百一十號



8290

明細書
圖面
讓渡證
添付書類目録

貳通
貳通
壹通

昭和十一年五月十五日

讓 渡 證

一、發明ノ名稱 車輛用懸架裝置

右私等ノ發明ニ付特許ヲ受クルノ權利ヲ國ニ讓渡致候也

昭和十年 月 日

東京市杉並區阿佐ヶ谷三丁目四百八十八番地

陸軍砲兵中佐 原 乙 未 生

東京市板橋區練馬南町二丁目三千六百十一番地

陸軍技手 喚 山 治 三 郎



陸軍大臣 林 銑十郎 殿

0890

明
細
書

明細書

發明ノ名稱

車輛用懸架裝置

發明ノ性質及目的ノ要領

本發明ハ、變卷ハ、軸及ベル、クランクヲ應用セル無限軌道六輪自動車又ハ之ニ類似ノ車輛ニ應用シ得ヘキ車輛用懸架裝置ニ係リ、其ノ目的トスル所ハ、普通道路上運行ニ於テハ、獨立緩衝作用ヲナシ不齊地形ニ於テハ、各車輪相互ニ連繫シテ關係運動ヲナシ、各車輪ヲシテ地面ノ凹凸ニ及ク追隨セシムル構造ヲ有シ、機構簡單ニシテ車輛ニ對分ナル緩衝作用ヲ與フルト共ニ、車輪ノ支持ヲ確實ナラシメ且必要ニ應ジ車輪ノ地上ヨリノ最低ノ高さ

1890

一
字
號
山



ヲ變更シ得シムルニ在リ

圖面ノ略解

添附圖面ハ本發明ノ實施形ヲ例示セルモノニシテ第一
圖ハ本裝置ノ一組ヲ六輪自動車ニ第二圖ハ之ヲ戰車ニ
裝置シタル要領圖ナリ第三圖第四圖及第五圖ハ本發明
ノ詳細ナル構造ヲ示ス断面圖ナリ

發明ノ詳細ナル説明

本裝置ハ一對ノ蔓巻ばねヲ横置シばね皮曳桿搖軸及べ
ルクランクヲ今シ車輛ノ重量ヲ各車輪ニ分布スル懸架
裝置ニシテ以下別紙圖面ヲ参照シテ本發明實施ノ態様
ヲ説明スヘシ

第一圖ハベルクランクノ軸部ニ直接車輪ヲ装着セル様式

一
訂
山

第ニ圖ハ車輪ヲ直接ベルクランク軸部ニ装セ入之ニ
 搖臂ヲ嵌装シ其ノ兩端ニ各一箇ノ車輪ヲ装着セル様式
 ヲ示セルモノニシテ第三圖ハ懸架はねノ切断面、第四圖
 ハ全AA断面、第五圖ハ搖軸ノ切断面ヲ示セルモノナリ、
 第二圖及第三圖ニ於テ(1)ハ懸架はね受ニシテ車體ニ固
 着セラレ其ノ前後ニはね受板(3)(3)ヲ今シ懸架はね(2)(2)
 ヲ横置ス、(5)(5)ハはね内部及はね受板(3)(3)、(4)(4)ヲ貫通ス
 ルニ對シテ曳桿ニシテはね受板(3)(3)ノ中間ニ鐸(2)(2)ヲ有
 シ曳桿ノ一端ハターソンバツクル(6)(6)ヲ今シベルクラン
 ク(7)(7)ニ極着セラル
 第五圖ニ於テ(7)ハベルクランクニシテ搖軸(8)ノ一端ニ
 固定セラレ、其ノ軸部(9)上ニ搖臂(11)ヲ嵌装シ搖臂ノ兩端

ニ車輪(12)ヲ装着ス、搖軸ハ車體ノ中心迄延張シ、車體ニ取
 付ケラレタル軸承(9)(10)ニヨリ支持セララル
 本發明ニ依ルトキハ普通道路上凹凸甚クシカラサル場
 合ニ於テ曳桿(5)又ハ(5)ハ夫々各一箇ノ蔓巻はねニ作用
 シテ搖臂ハ各獨立緩衝運動ヲアシ、凹凸甚クシキ地形ノ運
 行ニ於テ例ハハ前方搖臂托上セルモノトスレハ、ベルク
 ランク(11)ヲ今シ曳桿(5)ヲ前方ニ曳キ曳桿ハはね(6)ヲ壓
 シテ該受板ヲ前方ニ移動ス、從テはね(6)ヲ壓縮シ、はね受
 板(4)ヲ前方ニ移動シ、曳桿(5)ヲ又前方ニ移動シ、以テベル
 クランク(11)ヲ今シ後方ノ搖臂ヲ壓下シ、斯クシテ前方車
 輪ノ托上ヲ牽制シ、各車輪ヲシテ良ク地形ニ追隨セシム
 ルト共ニ二箇ノはねヲ有効ニ作用セシメ、各はねノ過負

荷ヲ防止シ得ヘシ

又搖軸ハ車體中心迄延長セルヲ以テ搖臂ノ負荷重及側
 壓ニ因ル車輪ノ倒レヲ防止シ前述ノ如キ車輪ノ不齊地
 形追隨性ト相俟テ本例ノ如キ裝軌式車輛ニ之ヲ應用ス
 ルトキハ軌道ノ車輪ヨリ離脱スルヲ防止シ得ヘシ又本
 例ノ如ク搖臂ヲ車體兩側ニ装着セル構造ニアリテハ兩
 搖軸軸心ノ一致從テ車輛兩側ノ車輪ノ完全ナル正行ヲ
 期待シ得ヘク以テ其ノ不平行ニ起因スル損失ヲ防止シ
 得ヘシ

尚本裝置ニヨルトキハカーミンバツクルヲ調節スルコト
 ニヨリ車體ノ地上ヨリノ最低ノ高サヲ或範圍内ニ於テ
 變更スルコトヲ得ルノミナラス之ヲ六輪自動車又ハ被

牽引車等ニ應用スルトキハ從來ノ懸架装置ニ比シ車體ノ地上ヨリノ最低ノ高サヲ容易ニ十分得ラルルノ利點アリ。

特許請求ノ範圍

本文ニ詳記シ且添附圖面ニ明示セル如クニ箇ノ蔓巻ハ水ヲ横置シ、曳桿、ターニンバツクル搖軸及ベルクランクヲ介シ車輪(又ハベルクランクニ搖臂ヲ嵌装シ之ニ装着シタルニ箇ノ車輪)ニ車輪、重量ヲ分布シハ水ヲ單獨ニ作用セシメ又ハ同時ニ作用セシメテ各車輪ヲ相互ニ連接セシメ且必要ニ應シ車體ノ地上ヨリノ最低ノ高サヲ調節シ得ル如クシタル無限軌道六輪自動車共、他之ニ類似セル車輛、兩側ニ各共ノ一組又ハ數組ヲ使用シ得ヘ

ト車輛用懸架装置

陸軍大臣 林 銑十郎

説明ターゲット

次の原稿青焼の

ため不鮮明な部

分あり

0588~0592

3年12月13日

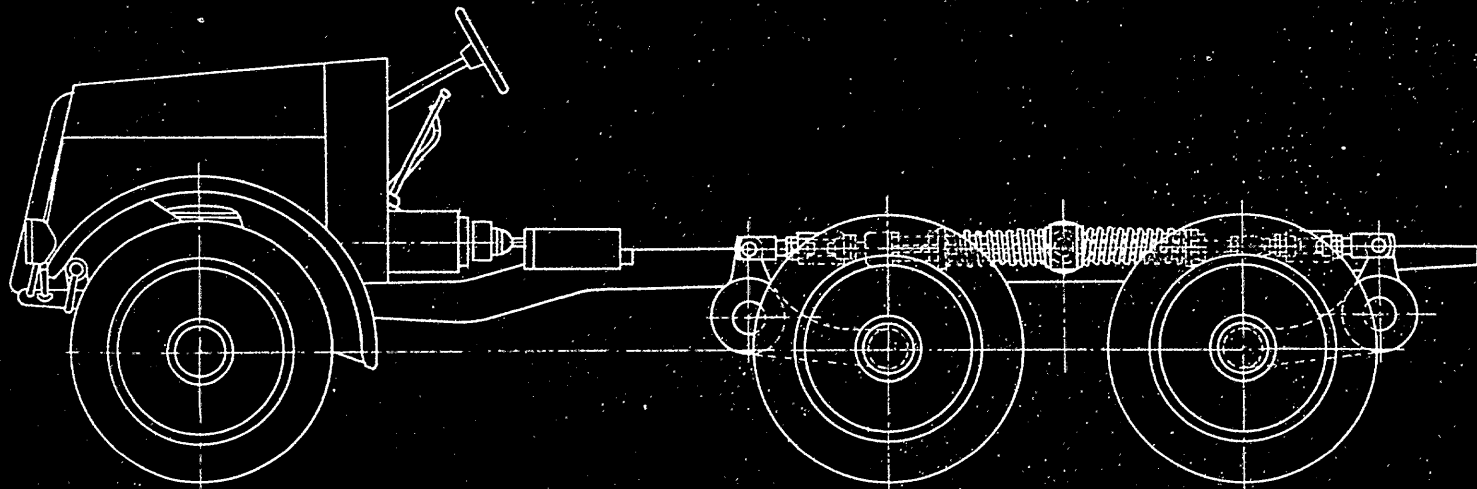
主務者又は

撮影立会者

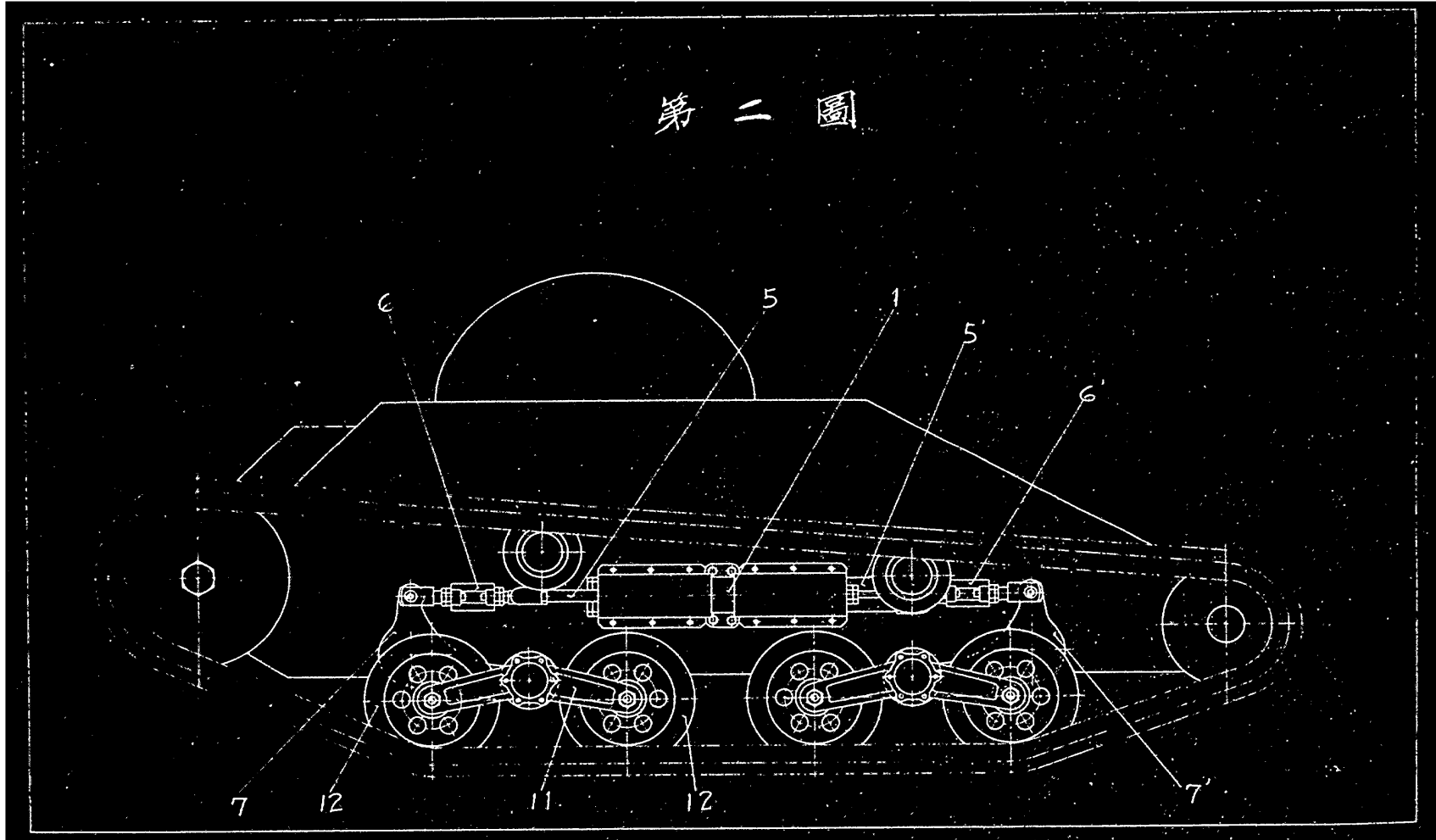
加部東保夫



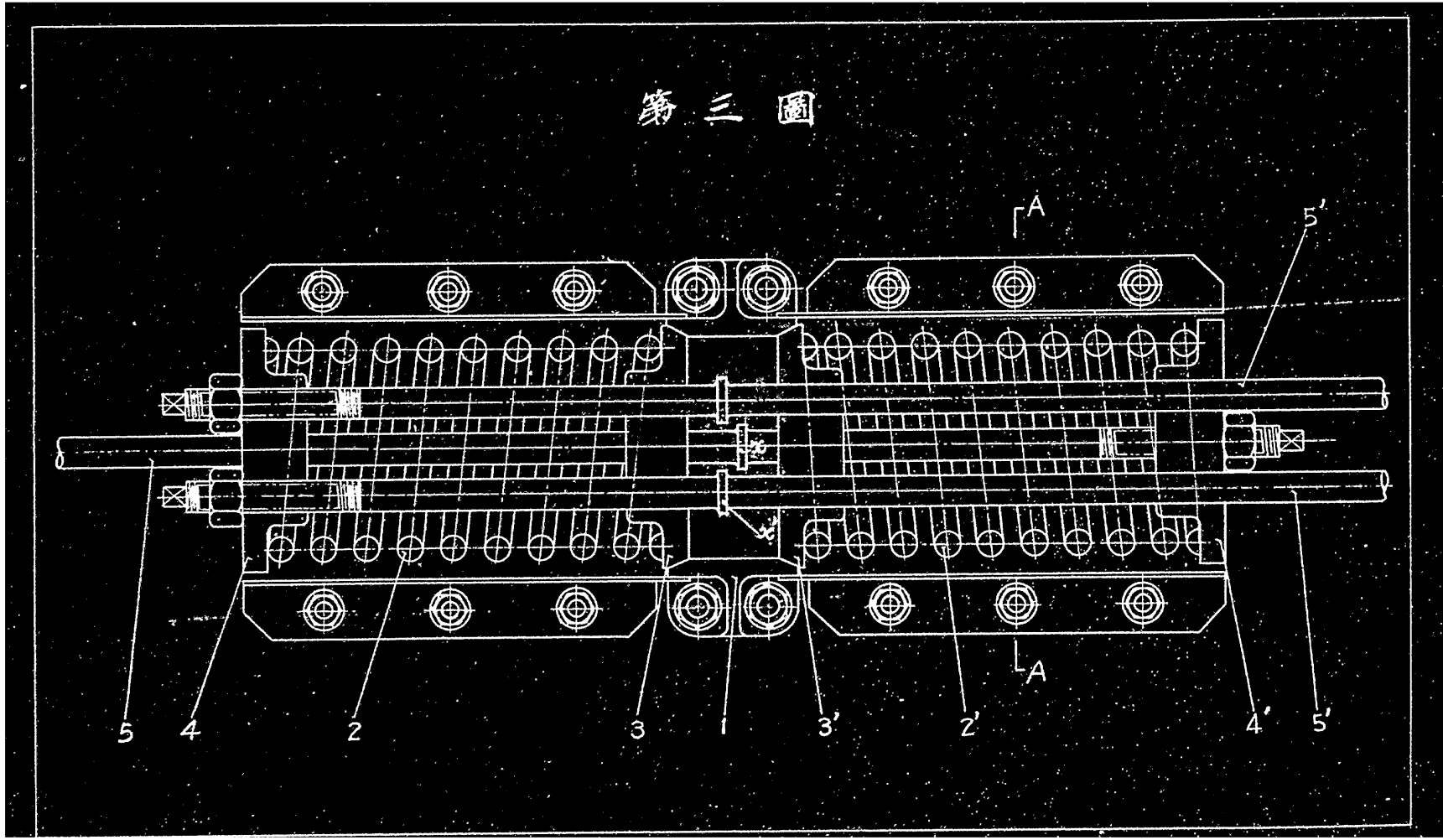
第一圖



第二圖



第三圖



第四圖

A A 断面

